



感染症週報



小笠原での流行状況

第13週（3月23日から3月29日まで）

父島 インフルエンザ、感染性胃腸炎の報告がありました。

母島 特別な感染症の報告はありませんでした。

※ 5例以上発生時に実数報告としています

東京都全体での流行状況

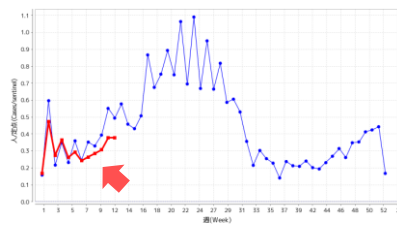
第12週（3月16日～3月22日）

【警報・注意報】

なし

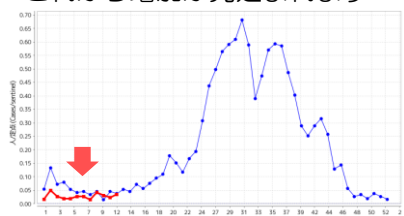
【ピックアップ】

- 水痘 やや増加傾向
(定点患者報告数 0.38)



東京都内における定点当たり患者報告数の年別推移

- 手足口病
(定点患者報告数 0.03)
これから増加が見込まれます



東京都内における定点当たり患者報告数の年別推移

感染症メモ

ワクチンの中には、「食べるワクチン」というユニークな研究もあります。これはジャガイモやトマト、米などの植物に、病原体の一部（抗原）を作らせ、それを食べることで免疫をつけようというものです。実際に、コレラやノロウイルス、B型肝炎などを対象に、遺伝子組換えジャガイモを人が食べる臨床試験が行われ、体内で抗体が作られることも確認されています。注射が不要で、大量生産や保存がしやすい点から、医療資源の限られた地域での活用が期待されています。一方で、食べる量によって効果にばらつきが出ることや、加熱や消化で成分が壊れるといった課題もあり、実用化にはさらなる工夫が必要です。「畑でワクチンを育てる」という発想は、将来の感染症対策を大きく変える可能性を持つ技術の一つです。

もっとちゃんと知って欲しい



ワクチン

(予防接種) のこと

生死に関わる感染症に怯えることなく暮らすことができる現代の日本。これはワクチンを中心とした予防医学の賜物です。

1796年、E.ジェンナーが天然痘を防ぐために行った種痘がワクチンの始まりはです。このワクチンの力により、有史以来人類が恐れてきた天然痘を1980年に撲滅宣言することができました。



日本で接種できるワクチンの種類と予防できる感染症

生ワクチン

結核、麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎、黄熱、
口タウイルス感染症、带状疱疹

不活化ワクチン・トキソイド(※)

百日咳、ジフテリア、破傷風、ポリオ、日本脳炎、
肺炎球菌、インフルエンザ菌b型、B型肝炎、
ヒトパピローマウイルス、インフルエンザウイルス、
新型コロナウイルス感染症、A型肝炎、狂犬病、
髄膜炎菌、带状疱疹

mRNAワクチン

新型コロナウイルス感染症

(※)トキソイド:細菌が産生する毒素から毒性を取り除き、免疫を作る能力は残したもの

弱点 ワクチンで100%抗体がつくとは言い切れず、ワクチン成分等へのアレルギーによって接種自体ができない場合もあります。副反応の問題もあります。

南米やアフリカでは、渡航の際に予防接種証明書が必要になる国もあります。渡航を計画する際は事前に調べておきましょう。

FORTH

